

職人技術の源

たくや
拓也 (39)

株式会社山口製作所 取締役工場長

専門学校卒業後、(株)日立東京エレクトロニクス情報管理課にてシステムエンジニアとして就職。山口製作所多忙のため、実家に入社。取締役工場長に就任。試作品の設計・製作・営業に多忙を極める。

狭山茶で有名な埼玉県入間市狭山ヶ原の工業団地の一角で株式会社山口製作所はプレス業を営んでいる。山口製作所は主に電子機器部品や携帯電話部品試作などを扱うプレスメーカーである。今回は工場長の山口拓也氏にお話を伺ってきた。

山口製作所のウリ

山口製作所は父親の山口登喜雄氏が創業した会社である。小さい頃から工場の中で遊び、プレス機に慣れ親しんでいた山口工場長にとって高校を卒業して製造業界で働き始めたのは必然であったのかもしれない。「学校に通っていた頃は四六時中ギターを弾いていましたね。でも高校を卒業したら製造業をやるんだとは何となくわかってたような気がします。」

その生粋の製造業育ちの山口工場長が働く山口製作所では大型の機械ではコストの合わない少量試作や量産試作といった分野に力をいれている。近頃の近代化された工場では無人化

が進み、けとばしと呼ばれるフットプレスを見かける機械は少なくなってきた。そんな中、山口製作所ではフットプレスを利用して、板圧、製品形状によって加工法を様々な工夫し、簡易金型を利用することで低コスト、短納期の双方を実現しているのである。CAD/CAMを利用して設計時間の短縮と職人の勘や経験により、精度の高い製品を、作り出しているのである。

では、そんな山口製作所のモノづくりのモチベーションはどこなところから生まれてくるのであろうか？

モノづくりの源

山口製作所ではNCネットワークに情報を登録していたものの、ホームページを持っておらず、どちらかというとITを利用して仕事を受注しようというよりは意識していなかった。しかしある時、一般の方からこんなものが作れないのかという問い合わせが来た

のである。

その製品が写真にある車のスタビライザーである。

通常の仕事の場合は発注側から図面が送られてきて、それを基に加工方法を考える。しかし、今回のスタビライザーのように、漠然とこのようなものが作りたいといわれた場合は、自分で最終形状を考えたと上で、加工方法も考えなくてはならないのである。一見大変そうに見えるこのプロセスが山口工場長にとっては、とても楽しいものなのだという。「自分の頭でイメージした製品が実際に出来上がった瞬間は最高なんだよ」と山口工場長は次から次へと、これまでに自分が考えて作ってきた製品の写真を見せながら、話をしてくれた。

現在山口製作所ではホームページの制作を進めている。ホームページと工場動画、この2つに今回取り組んだ理由は当然仕事を受注する窓口を増やすというビジネス的な視点もある。

COMPANY PRO-file

株式会社山口製作所
本社所在地：埼玉県入間市狭山ヶ原 325-5
TEL:042-934-6688 FAX:042-934-4348
担当：取締役工場長 山口 拓也
事業内容：プレス金型製作・プレス板金・精密試作加工
エミダス社・工場詳細情報：
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?63715>
※「エミダス工場検索」のキーワード検索「山口製作所」で検索できます。本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップCD-ROM」にて、同社の工場技術動画をご紹介しております！

同時に、一般の人にも気軽に「山口製作所」の門を叩いてほしいという山口工場長の思いも込められている。新しいモノづくりの充実感を得たいという心も山口工場長の中にはあるのかもしれない。



職飛ばしを利用して精密な製品を一点、一点仕上げる。NC工作機械とのコンビネーションで1/1000のオーダーに答える。